

《短報》

山口県におけるヤマトビロトビケラの初記録

辻 雄介¹⁾・岩田泰幸²⁾

¹⁾株式会社相愛, 〒780-0002 高知県高知市重倉266-2

²⁾公益財団法人文化財虫菌害研究所, 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-1-8

ヤマトビロトビケラ *Nothopsyche montivaga* Nozaki, 1999 (トビケラ目 Trichoptera: エグリトビケラ科 Limnephilidae) は、一般的に幼虫期を水中で過ごすトビケラ目では珍しく、生活史のすべてを陸上で過ごす陸生種として知られている (Nozaki, 1999)。本種は、中国・四国・九州地方で分布が確認されており、中国地方では岡山県・広島県・島根県で記録されているが (Nozaki, 1999; 森ほか, 2006; 野崎・中村, 2007)、山口県における記録は見当たらない (辻, 2022)。

筆者の辻は、山口県周南市でヤマトビロトビケラを採集しているので、県初記録として以下に報告する。

【標本データ】 (標本は豊田ホタルの里ミュージアムで保管)

♂Larva (図1) (99.5%エタノールで保存), 山口県周南市金峰 [34.177582,131.866711], 5.V.2019, 辻雄介 leg.

【備考】

法面の斜面部に堆積したレキを多く含む落葉層を篩って採集された。採集は短時間であり、ごく狭い範囲でしか調査はできていないが、複数個体が採集されており当地での個体数は少なくないものと思われる。

本種幼虫の生息環境として、林床にレキが多く混じっているケースが複数報告されており (辻, 2022)、本報で記録した産地でも同様であった。山口県内で同様の環境を中心に探索を行うことにより、本種の新産地が発見され分布状況の蓄積が進むものと思われる。



図1. 山口県で採集されたヤマトビロトビケラ (A: 本種幼虫, B: 筒巢)

引用文献

森 生枝・十川巡一・十川和幸 (2006) 岡山県で陸生種ヤマトビロトビケラ (トビケラ目, エグリトビケラ科) を確認. 岡山県自然保護センター研究報告, (14): 71-74.

Nozaki, T. (1999) A new terrestrial caddisfly, *Nothopsyche montivaga* n. sp., from Japan (Trichoptera: Limnephilidae). In (Malicky, H. & P. Chantaramongkol, eds.) Proceedings of the 9th International Symposium on Trichoptera, pp. 299-309. University of Chiang Mai, Chiang Mai.

野崎隆夫・中村慎吾 (2007) 広島県で採集されたトビケラ成虫の記録 (第2報). 比和科学博物館研究報告, (48): 91-101.

辻 雄介 (2022) 四国地方2産地目となるヤマトビロトビケラ (昆虫綱: トビケラ目) を高知県で採集. 四国自然史科学研究, (15): 18-21.